

- 問1 アフリカ大陸の地図を確認すると、経線や緯線を利用した直線的な国境線が多く見られます。このような国境線が画定された歴史的背景と、その後の影響について述べた文として最も適切なものを選びなさい。 (2021年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. ヨーロッパ諸国による植民地支配の際、現地の民族分布を無視して一方的に境界線が引かれたため、独立後も紛争の原因となった。 | 2. 民族自決の原則に基づき、アフリカの各民族が話し合いを通じて、公平に資源を分配できるよう直線の境界線を定めた。 | 3. 第二次世界大戦後に独立を達成した際、レアメタルの産出地域を周辺国で共有するために、国際連合が新たに引き直した。 | 4. 広大な砂漠や熱帯雨林において、山脈や河川などの自然の地形を正確に境界線として利用した結果、直線的な国境となった。 |
|--|---|--|---|
- 問2 古代エジプトにおいて、天体観測が発達し「太陽暦」が作られた背景として、ナイル川の自然環境と農業の関係から説明したものととして最も適切なものはどれですか。 (2026年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. ナイル川が定期的に氾濫する時期を予測し、農作業の計画を立てる必要があったため | 2. ナイル川の上流にあるピラミッド建設現場へ、石材を運ぶための増水期を知るため | 3. ナイル川の交易路が地中海とつながる時期を特定し、麦の輸出額を増やすため | 4. ナイル川の急激な水量の減少を予測し、砂漠化を防ぐための灌漑施設を稼働させるため |
|---|--|--|--|
- 問3 オーストラリアの都市であるメルボルンにおいて、ヨーロッパ諸国の都市に見られるような重厚な石造りの建築物や教会が立ち並ぶ景観が形成された歴史的背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2026年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. アメリカ合衆国の統治下で、キリスト教の布教とともに西洋的な都市開発が進められたため | 2. 金鉱の発見以降、多国籍な移民がそれぞれの国の様式を持ち寄って折衷的な街作りを行ったため | 3. オランダがインド洋貿易の拠点として開発し、自国の港町を模した景観を作り上げたため | 4. イギリスによる植民地支配を受け、支配国の文化や建築様式が強く反映されたため |
|--|--|---|--|
- 問4 メソポタミア文明において生み出され、現代の私たちの生活における「時間」や「暦」の考え方の基礎となっている数学的・天文学的知識の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2017年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------|-----------------------|-----------------------|---------------------------|
| 1. 1週間を7日とする制度と、60進法の活用 | 2. ゼロの概念の発見と、十進位取り記数法 | 3. 二十四節気の導入と、太陰太陽暦の作成 | 4. 1年を365日とする太陽暦と、10進法の活用 |
|-------------------------|-----------------------|-----------------------|---------------------------|
- 問5 中国の河南省安陽市にある「殷墟（いんきょ）」と呼ばれる遺跡から大量に出土し、当時の王朝の存在を証明する決定打となった史料を、その特徴に基づいて説明しているものはどれですか。 (2025年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|----------------------------------|
| 1. ピラミッドの内部に描かれており、王の復活を願う呪文が記された資料 | 2. パピルスと呼ばれる植物の茎から作られた紙に、当時の法律を記した資料 | 3. 亀の甲羅や動物の骨に刻まれており、占いの内容が記録されている資料 | 4. 竹を細長く割ったものに、官僚の採用試験の内容を記録した資料 |
|-------------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|----------------------------------|
- 問6 日本の原始・古代における4つの代表的な資料（打製石器、青銅器、埴輪、和同開珎）を、出現した時期が古いものから順に並べたものとして正しいものはどれですか。 (2014年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|
| 1. 打製石器 → 青銅器 → 和同開珎 → 埴輪 | 2. 青銅器 → 打製石器 → 埴輪 → 和同開珎 | 3. 打製石器 → 埴輪 → 青銅器 → 和同開珎 | 4. 打製石器 → 青銅器 → 埴輪 → 和同開珎 |
|---------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|
- 問7 11世紀末から始まった聖地エルサレムの奪還を目指す十字軍の遠征が、その後のヨーロッパ社会に与えた歴史的な影響として、最も適切な説明を選びなさい。 (2022年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. イスラム教の教えがヨーロッパ全土に浸透した結果、キリスト教に基づいた中世の封建社会が崩壊し、新しい宗教国家が誕生した。 | 2. エルサレムを恒久的に奪還するという当初の目的は達成できなかったが、イスラム世界との接触を通じて東西の文化や経済の交流が活発になった。 | 3. 聖地の奪還に完全に成功したことで、ローマ教皇の権威が絶頂に達し、イスラム勢力は地中海から完全に駆逐された。 | 4. 遠征による戦乱が続いたことで地中海貿易は完全に途絶え、ヨーロッパの都市は経済的に衰退して自給自足の生活に戻った。 |
|--|---|--|---|
- 問8 前漢（漢）の時代、大規模な防衛施設である万里の長城が、現在の中国の内陸部から黄河の北側にかけたの境界線沿いに整備されました。このように、漢が大規模な長城を維持・拡張した主な目的として正しいものはどれですか。 (2026年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------|------------------------------|-----------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 朝鮮半島や日本列島との海上貿易を管理する拠点とするため | 2. 北方の遊牧民族による侵入を防ぎ、国土を防御するため | 3. 黄河の氾濫を防ぎ、周辺の農耕地を保護するための堤防とするため | 4. 国内の反乱勢力を一定の地域に閉じ込め、中央集権体制を維持するため |
|--------------------------------|------------------------------|-----------------------------------|-------------------------------------|
- 問9 古代中国の各王朝で見られた文化や社会の様子について述べた文として、正しいものはどれか。 (2024年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|-----------------------------------|--------------------------------------|--|
| 1. 殷の時代には、亀の甲羅や動物の骨に刻まれた甲骨文字が使われていた。 | 2. 殷の時代には、始皇帝によって度量衡や貨幣の統一が進められた。 | 3. 漢の時代には、初めて青銅器が作られ、万里の長城の建設が開始された。 | 4. 秦の時代には、西方との交易路であるシルクロードを通じて仏教が伝わった。 |
|--------------------------------------|-----------------------------------|--------------------------------------|--|
- 問10 弥生時代に現れた青銅器と、奈良時代に現れた和同開珎。これら2つの資料の使われ方や目的の違いを説明したものととして、最も適切なものはどれですか。 (2014年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 青銅器は主に祭りの道具などの宝物として使われたが、和同開珎は国家の権威を示し、建設費用をまかなう等の目的で発行された。 | 2. 青銅器は大陸との貿易を円滑にするための通貨であったが、和同開珎は国内の物々交換を禁止するために作られた。 | 3. 青銅器は稲作の収穫効率を高める農具として使われたが、和同開珎は寺院を建立する際の地面を固める材料として使われた。 | 4. 青銅器は狩猟の道具として実用的に使われたが、和同開珎は死者を弔うための副葬品として使われた。 |
|--|---|---|---|
- 問11 紀元前5世紀頃のアテネなど、古代ギリシャの都市国家で見られた政治の仕組みについて、その特徴を説明したものととして適切なものはどれですか。 (2022年 宮城県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 広大な領土を統治するために、各地に知事を派遣して徴税を行う仕組みが整えられていた | 2. 河川の治水を目的とした強力な王権のもとで、官僚による中央集権的な政治が行われていた。 | 3. カースト制度と呼ばれる厳しい身分制度があり、特定の身分のみが政治を独占していた。 | 4. 労働を奴隷に依存する社会構造のもと、市民が直接話し合いに参加する政治が行われていた。 |
|---|---|---|---|
- 問12 1202年にイタリアのヴェネチアを出発し、ローマやコンスタンティノープルといった都市を経由してエルサレム方面へ向かった十字軍の遠征路に見られるように、この時代の出来事が都市の発展に及ぼした影響について述べた文として正しいものを選びなさい。 (2022年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 遠征の輸送や兵站を担ったイタリアの諸都市が、地中海貿易の主導権を握ることで商業的に大きく繁栄した。 | 2. コンスタンティノープルが遠征軍の拠点となったことで、東ローマ帝国は軍事力を増強し、イスラム勢力をアジアから一掃した。 | 3. 遠征路となった都市はすべて戦火によって破壊され、それまで維持されていた地中海の都市ネットワークは消滅した。 | 4. ヴェネチアなどの都市は、宗教的な目的を優先して商業活動をすべて停止したため、市民の生活は困窮した。 |
|--|---|--|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 ヨーロッパ諸国による植民地支配の際、現地の民族分布を無視して一方的に境界線が引かれたため、独立後も紛争の原因となった。	19世紀後半、ヨーロッパ諸国はベルリン会議などを通じて、アフリカを分割し植民地化しました。その際、現地に住む人々の言語、文化、民族の居住範囲といった実態を考慮せず、宗主国の利害関係を優先して経緯線などで機械的に境界線を引きました。この「人為的境界」は、一つの民族を分断したり、歴史的に対立していた民族を同じ国の中に閉じ込めたりすることにつながり、独立後の国境紛争や内戦、さらにはレアメタルなどの資源をめぐる対立が激化する大きな要因となりました。
問2	答え 1 ナイル川が定期的に氾濫する時期を予測し、農作業の計画を立てる必要があったため	古代エジプトでは、ナイル川が毎年ほぼ決まった時期に氾濫し、周囲に肥沃な土壌を残していく性質を利用して農業が行われました。この氾濫の時期を正確に知ることは、種まきなどの農作業の予定を立てる上で不可欠だったため、天体観測に基づいた太陽暦が発達しました。ピラミッドは王の墓であり、建設と暦の関係はこの選択肢の文脈には当てはまりません。
問3	答え 4 イギリスによる植民地支配を受け、支配国の文化や建築様式が強く反映されたため	18世紀後半から始まったイギリスによるオーストラリアの植民地支配により、都市計画や建築においてもヨーロッパ様式が導入されました。メルボルンの石造りの建築や教会の存在は、当時の支配国であったイギリスの影響を色濃く示しており、植民地時代の歴史的背景を物語っています。
問4	答え 1 1週間を7日とする制度と、60進法の活用	メソポタミア文明では、天体の動きを観察する天文学が発達し、そこから1週間を7日（七曜制）とする制度が考案されました。また、数学においては、60をひとつの区切りとする「60進法」が使われていました。この考え方は、現代においても1分を60秒、1時間を60分とする時間の単位や、円の角度を360度とする基準として受け継がれています。
問5	答え 3 亀の甲羅や動物の骨に刻まれており、占いの内容が記録されている資料	殷墟は殷王朝後期の都の跡であり、ここから発見された甲骨によって、伝説上の存在に近かった殷が実在したことが裏付けられました。甲骨には、農作物の豊凶、戦争の成否、天候、王の健康状態などの占いの結果が刻まれており、当時の社会状況を詳しく知ることができる一級の史料となっています。
問6	答え 4 打製石器 → 青銅器 → 埴輪 → 和同開珎	日本の歴史において、まず旧石器時代に石を打ち欠いて作った打製石器が使われました。次に、弥生時代になると大陸から稲作とともに青銅器などの金属器が伝わりました。その後、古墳時代には古墳の周囲に並べるための埴輪が作られるようになり、奈良時代に入ると律令国家の形成に伴い、唐の貨幣になった和同開珎が鑄造されました。この変遷は、生産技術の向上や国家体制の整備の過程を反映しています。
問7	答え 2 エルサレムを恒久的に奪還するという当初の目的は達成できなかったが、イスラム世界との接触を通じて東西の文化や経済の交流が活発になった。	十字軍は宗教的な情熱から始まった軍事遠征でしたが、軍事的な成功は一時的なものにとどまり、最終的にエルサレムを維持することはできませんでした。しかし、この遠征によってヨーロッパ人はイスラム世界の高度な科学や学問、文化に触れることとなり、地中海を通じた香辛料などの東西交易が盛んになるなど、後のヨーロッパの発展に大きな影響を与えました。
問8	答え 2 北方の遊牧民族による侵入を防ぎ、国土を防御するため	前漢の時代、中国の北方の草原地帯には強力な遊牧民族が活動しており、農耕定住社会である漢の領土へしばしば侵入を繰り返していました。漢の武帝などは、これに対抗するために万里の長城を修築・延長し、騎馬軍団による大規模な侵攻を食い止めるための軍事的な防衛線として活用しました。
問9	答え 1 殷の時代には、亀の甲羅や動物の骨に刻まれた甲骨文字が使われていた。	紀元前16世紀頃に興った殷（商）では、占いの結果などを記録するために、亀の甲羅や牛の骨に文字を刻みました。これが漢字の原型とされる甲骨文字です。シルクロードの開通や仏教の伝来は漢の時代の出来事であり、度量衡の統一や万里の長城の整備は秦の時代の政策です。
問10	答え 1 青銅器は主に祭りの道具などの宝物として使われたが、和同開珎は国家の権威を示し、建設費用をまかなう等の目的で発行された。	弥生時代の青銅器（銅鐸、銅剣、銅矛など）は、当初は武器の形をしていましたが、次第に大型化し、豊作を祈るなどの祭りの道具として用いられるようになりました。一方、奈良時代の和同開珎は、律令制のもとで国家の経済的基盤を固め、都の造営などの支出をまかなうために発行された貨幣です。資料の用途の変化は、単なる道具の進化ではなく、社会の仕組みが「村の共同体」から「統一国家」へと発展したことを示しています。
問11	答え 4 労働を奴隷に依存する社会構造のもと、市民が直接話し合いに参加する政治が行われていた。	古代ギリシャの都市国家（ポリス）であるアテネでは、成人男性市民が民会に出席して直接政策を決定する直接民主政治が行われました。この市民による政治参加を支えていたのは、生産労働に従事していた奴隷の存在です。この仕組みは現代の民主政治の起源とされています。
問12	答え 1 遠征の輸送や兵站を担ったイタリアの諸都市が、地中海貿易の主導権を握ることで商業的に大きく繁栄した。	十字軍の遠征では、兵士や物資を運ぶためにヴェネチアやジェノヴァといったイタリアの海港都市が重要な役割を果たしました。これらの都市は輸送によって多額の利益を得ただけでなく、東方の物産をヨーロッパに持ち込む地中海貿易の拠点として発展し、後のルネサンスへとつながる経済的基盤を築きました。